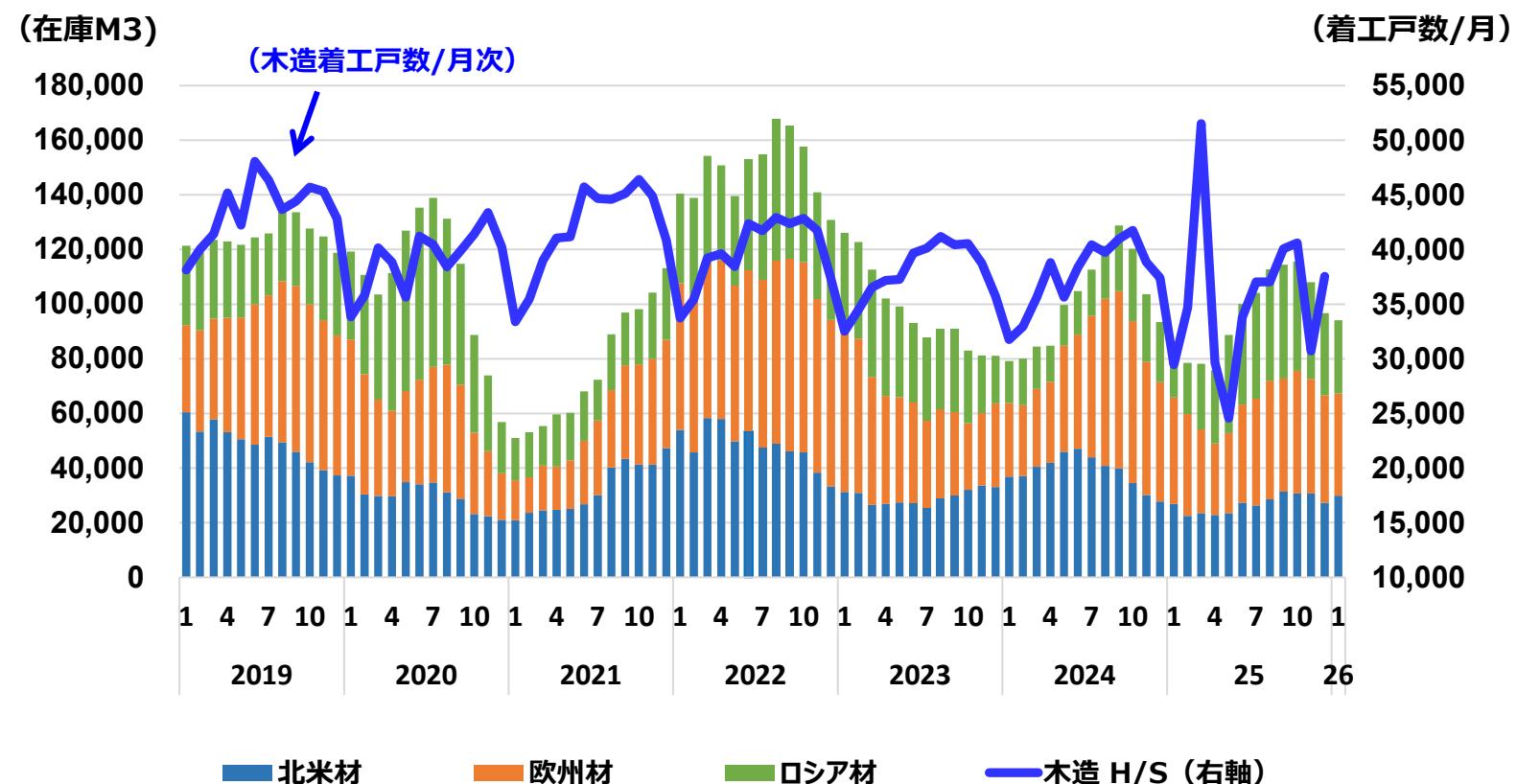


参考図表 1

「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019~26年

- 2026年1月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、先月に引き続き減少。北米材は、前月から9%増加の29,852m³（11%）、欧洲材は前月から5%減少の37,390m³（-4%）と引き続き低位。欧洲中央エリアの製材工場等の経営が苦しいことやユーロ高の影響により、欧洲材の今後の供給を懸念する声あり。ロシア材は、順調だったコンテナ入荷の減少したことから、前月から11%減少の26,829m³（+37%）。
- 2025年12月の木造着工戸数は37,539戸（前年同期比±0%）と前月から増加。

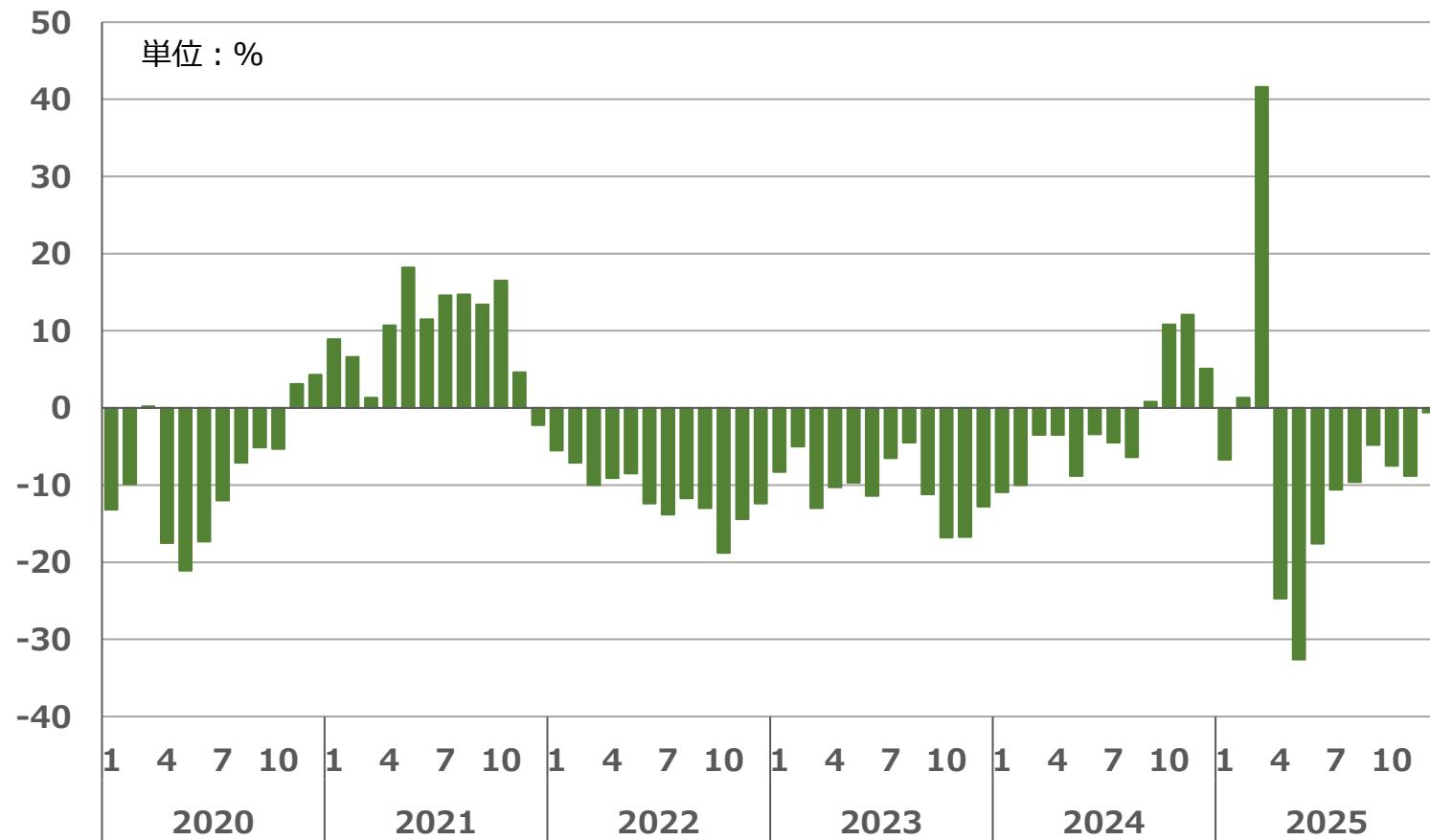


参考図表 2

木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

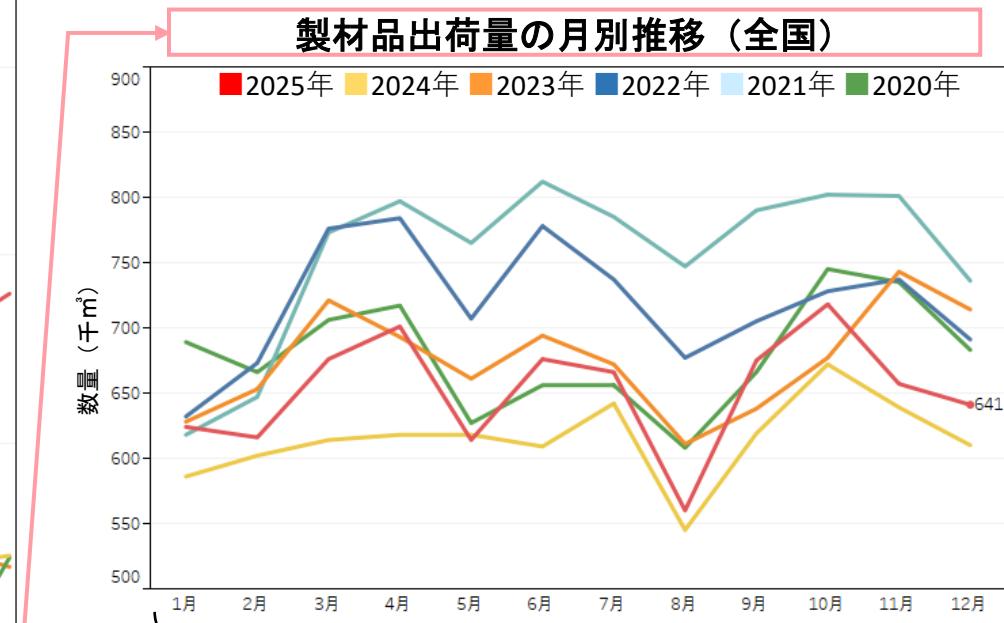
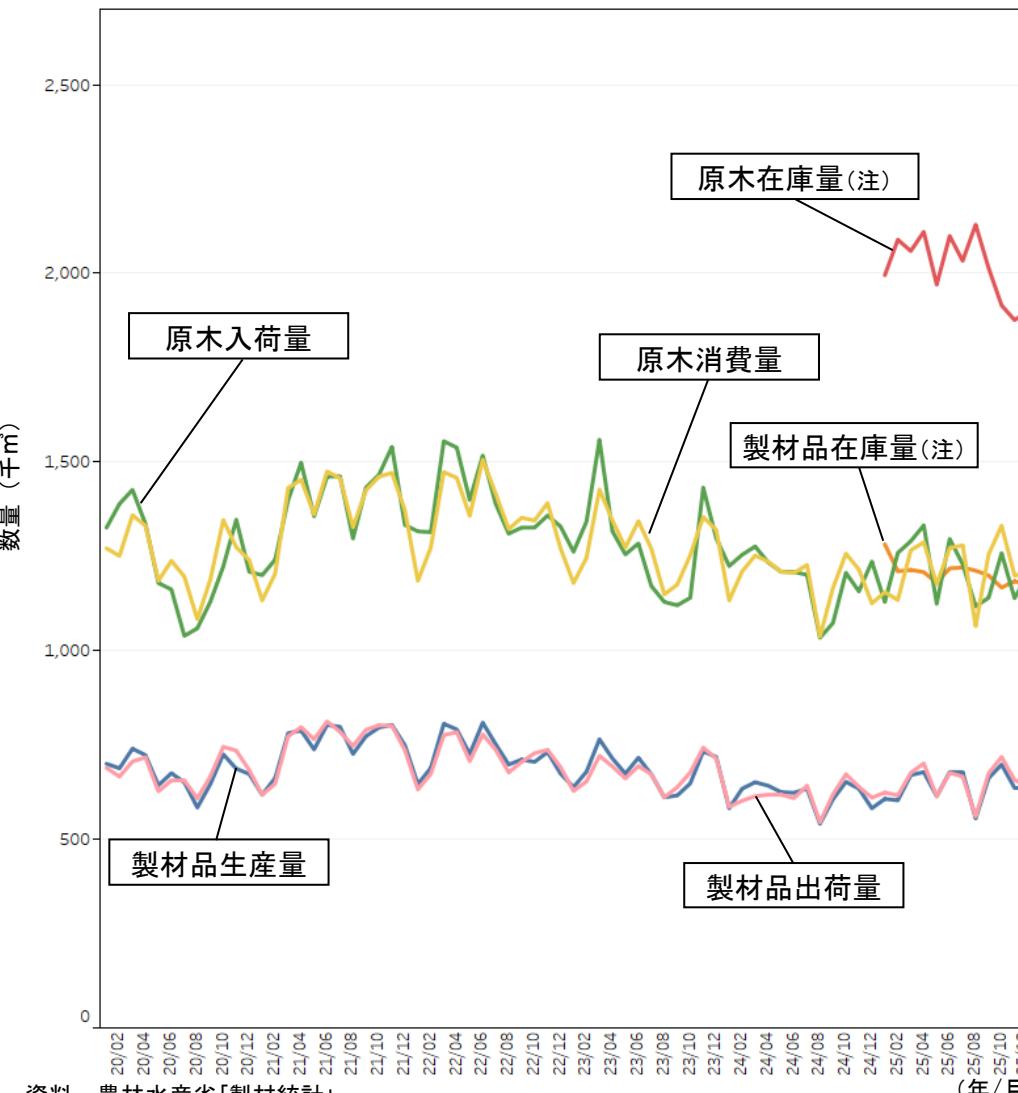
住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

- 2025年12月の木造持家着工戸数は、15,754戸（前年同期比-0.6%）と11月から-2%下落。



工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2025年1～12月の原木の入荷量は14,512千m³（前年比101%）。
- 同様に製材品の出荷量は7,824千m³（前年比106%）。



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～12月原木入荷量合計(千m ³)	14,824	16,685	16,677	15,308	14,312	14,512
前年との比較	-	113%	100%	92%	93%	101%
1～12月製材品出荷量合計(千m ³)	8,154	9,073	8,625	8,105	7,374	7,824
前年との比較	-	111%	95%	94%	91%	106%

資料：農林水産省「製材統計」

注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

参考図表4

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率＝当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2025年12月の在庫率は0.75カ月分と11月から0.04ポイント減少。
- 2026年2月の針葉樹合板価格は1,550円と先月から横ばい。



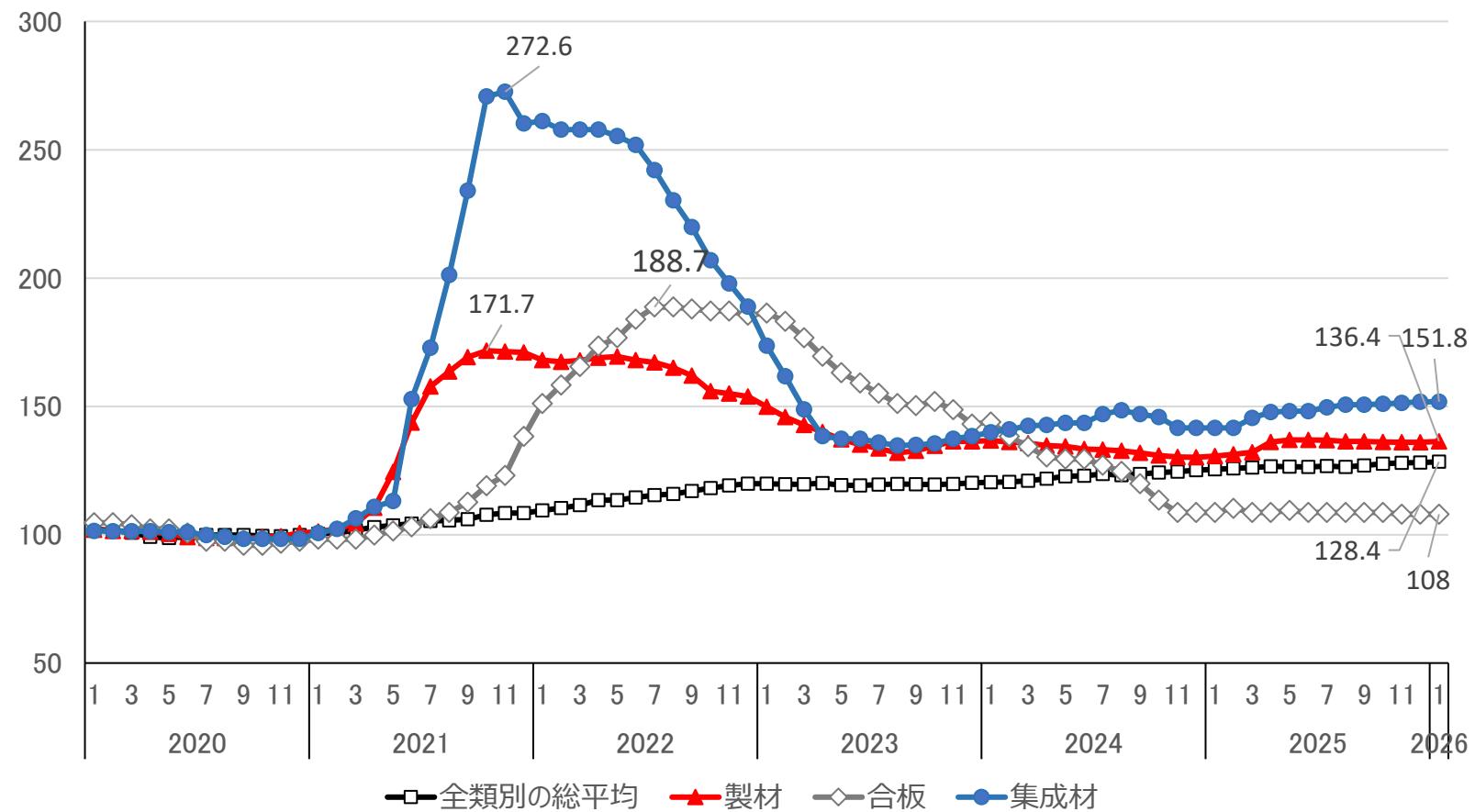
資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

参考図表 5

国内企業物価指数の推移（2000年平均 = 100）

- 2026年1月の企業物価指数（先月比）は、製材136.4 (+0.4)、集成材151.8 (±0)、合板108.0 (±0) であり、合板は2024年11月以降下が止まり傾向が見られる。



資料：日本銀行「企業物価指数」

(参考1) 米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～150万台で推移。
2025年10月は前月比▲5%減の約125万台。※2025年11月分・12月分の更新情報はなし
- 北米の製材価格は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。2026年1月は426ドル/mbf（前月比+14%増）。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時高騰。

